



補修された生活道路

生活道路の維持補修について

地域の要望、実情に合わせた対応を

昨年、議会へのご意見・ご要望を集めたところ、生活道路に維持補修を求める声がたくさんありました。地域から要望されて積み残しになっている件数を尋ねると、市道、法定外道路とも約30件との回答がありました。令和元年房総台風以降、河川の護岸復旧工事などを優先して進めてきた。今後は維持補修の要望にも順次対応していくとのことでした。

法定外道路については、地区からの申請により維持補修に必要な資材交付が行われます。地域住民での工事が困難な場合には、工事の施工も市で行います。予算が限られているので、地区によっては何年分も交付金を貯めないと工事が完了せず、困っているところもあります。地域ごとの実情に合った対応を望みます。

令和4年度一般会計予算 224億5,200万円

令和4年度一般会計予算が可決されました。清掃センター長寿命化対策をはじめとした大事業があり、予算規模も大きくなっています。

▼主な大きな予算の事業

清掃センター基幹的設備改良事業	13億6,715万6千円	(国県から2億2,662万3千円)
障害自立支援給付事業	14億3,533万9千円	(国県から10億7,649万9千円)
生活保護事業	10億5,192万3千円	(国県から7億8,893万8千円)
食のまちづくり拠点施設整備事業	4億7,600万5千円	
港湾施設整備費	1億1,721万5千円	
雨水排水路整備事業	2億2,907万4千円	
安房都市広域市町村圏事務組合常備消防費負担金	9億 832万6千円	
館山中学校整備事業	4億7,849万7千円	(国県から3億666万4千円)

「ごみ」を減らしましょう!

清掃センターの長寿命化のための改修工事が、今年度から始まります。工事期間中は、2つの炉を片方ずつ停止して工事を行います。その間、24時間運転を行いますが、処理能力は落ちます。処理しきれない「ごみ」は、市外へ搬出しなければならず、多大な費用がかかります。改修した焼却炉を、更に長く使い続けるためにも、負担を減らしたいところです。

「ごみ」の減量化にご協力をお願いいたします。地球環境のためにも、焼却、埋設するごみを減らしましょう。不要なものは買わない、リサイクル、リユースを徹底し、修理して使えるものは修理しましょう。

海岸や道路の清掃作業をしていると、ポイ捨てされたペットボトルや空き缶、弁当のごみなどの多さに驚きます。リサイクルすれば「資源」になるものです。「もの」は捨てれば「ごみ」になります。

この機会に「もの」を大切に「ごみ」を減らす暮らし方について考えてみませんか?



竹チップのコンポスト

生ゴミを竹チップの中に入れると発酵してなくなります。最終的には肥料として使用できます。

おわりに



4月1日の住民基本台帳人口が昨年同時期の45,447人から44,937人と510人減少しています。今後の学校再編の議論も、子どもの数が激減することを前提としています。温暖で暮らしやすいこの地で働き、子育てをする人を増やすことに前向きに取り組んでいきたいと思います。人々が生き生きと働き暮らせる街づくりを、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。